

子ども部屋の しかけ

子ども部屋のしかけでいちばん大切なことは、自分でやっ
てもらうため、子どもができるレベルや手の届く高さにする
ということ。

クローゼットのハンガーをかけるバーは、大人の手は届い
ても、子どもがまだ小さければ手は届きません。背が伸びる
までのあいだ手の届く収納を工夫してみましょ。

引出しの中の洋服も、たたんで立てて並べる、くるくると
丸めて立てて並べるなど、いろんな提案・工夫ができます。
箱やブックスタンドで引出しの中を仕切ると、立てやすくな

ります。

子どもがやりたい方法を選ばせて、自分で管理してもらおうとお母さんはラクになり
ます。

押し入れはしまい込む収納にせず、よく使う収納にすることが片づけ力を育てます。

高いところは、シーズンオフの洋服、おさが
りの洋服、子どもの作品や思い出の品など



奥の壁面も、フックをつけるとシー
ズンオフのコート
や習い事のドレス
などがかけられる

子どもでも届く高
さにバッグ用の
フックをつけよう

クローゼットの中
にも着かけカゴが
あると便利

子どもが小さいう
ちは長いS字フック
などを使って、ハン
ガーにかけた洋服に
手が届くように。自
分で着替えや出し入
れができることは自
立への第一歩

洋服も丸めたみなら
2歳くらいからできる

幼い子どもにはラベ
リングもイラストや写
真で